

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 人間としての生き方について考えさせる |

中学校3年生 C-(13) 勤労「好きな仕事か安定かなやんでいる」のポイント

<ねらい> 勤労の尊さや意義についての理解を深め、社会における自らの役割や将来の生き方について考えようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に…

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

・自分の将来の仕事をイメージさせ、本時の課題についての問題意識と、自分との関わりで考えようとする意欲を持たせる。

③<自分との関わりで考えさせる>

・自分がこの大学生だったらどちらの生き方を選ぶかを考えさせる。

(中心的な発問)

◎あなたがこの大学生のように将来の職業選択に迫られたら、「好きな仕事」と「安定した仕事」のどちらを選ぶと思いますか。

④<多面的・多角的に考えさせる>

・自分とは異なる立場の考えに触れ、進路や職業を選択する際に大切にしたいことについて、多面的・多角的に考えさせる。

(補助発問)

●自分とは異なる立場の人に言いたいことや聞いてみたいことはありますか。

⑤<人間としての生き方について考えさせる>

⑥<自分との関わりで考えさせる>

・進路や職業を選択する際に大切にしたいことや将来の生き方について、自分との関わりで考えさせる。

展開

終末